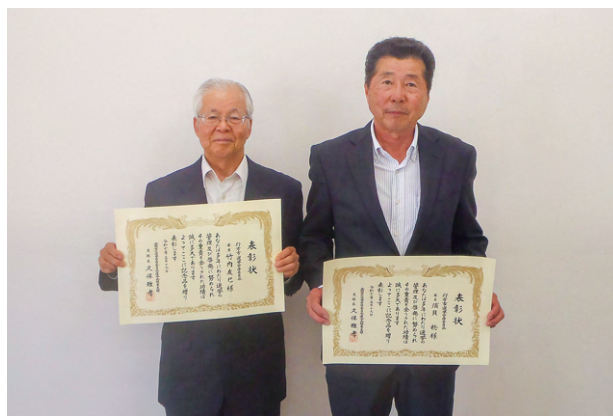


多年にわたる選挙管理の功績を表彰 竹内友巳さん 須貝稔さん

行方市選挙管理委員会委員の竹内友巳さんと須貝稔さんに、全国市区選挙管理委員会連合会および同関東支部から表彰状が贈られました。この表彰は、多年にわたり選挙管理の重責を担うことに対し、その功績を表彰するものです。両名は、現在も本市の選挙管理委員会委員として尽力されています。



▲（写真左から）竹内友巳さん、須貝稔さん



▲（写真中央左から）深作秀喜代表、深作美香店長

学校給食へ地元産の食材を寄贈 なめがた米こbaumクーヘン

6月12日（木）、なめがた米こbaumクーヘン（深作秀喜代表）から、市立幼稚園および小・中学校の学校給食へ、baumクーヘンが寄贈されました。行方市産のコシヒカリを自家製粉した米粉と、茨城県産の新鮮で濃厚な卵を使用したbaumクーヘン2,180個は、6月19日（木）の学校給食に提供されました。昨年に続く寄贈で、深作代表は「子どもたちの笑顔があふれる楽しい給食の思い出になれば」と思いを寄せました。

消防車両を新たに配備 市消防団女性部

6月14日（土）、市消防団女性部に総務省から無償貸付された消防車両が新たに配備されたことを受け、玉造B&G海洋センターで引渡式が開催されました。引き渡し後には、同会場で行われていた市消防団夏季訓練で、車両の取り扱いや規律訓練を行いました。この車両を有効活用し、市民の防災意識の向上と地域の安心・安全の確保に向け、市消防団女性部の今後の活躍が期待されます。



▲（写真右から）海老澤文江女性部部长と女性部団員の皆さん



▲ 苗植え体験参加者の皆さん

大豆の苗植え体験 家族で大豆を育てよう! in なめがた

6月15日（日）、「家族で大豆を育てよう in なめがた」を開催しました。この取り組みは、市と大塚製薬株式会社が提携している「食と農と健康に係る包括連携協定」により実施されたもので、今回は22組77人が参加しました。本年度は、苗植え体験のほかに食材に関する講義や、ジャガイモの収穫体験も行いました。今回植えた大豆は、秋ごろの収穫を予定しています。

ジャガイモ掘り体験 市内の幼稚園児

6月16日（月）～30日（月）、食育推進の一環として、市内の幼稚園児等を対象としたジャガイモ掘り体験を実施しました。本取り組みは、農業振興センターの圃場を活用し、地元農業への理解や食への関心を高めることを目的に実施しました。延べ430人が参加し、収穫体験をした子どもたちからは「大きいのがとれた」「いっぱい取れて楽しかった」などの声があがりました。



▲園児たちは一生懸命にジャガイモを掘っていました



▲店頭で焼き芋の試食会を行いました

市の特産品をPR ヨークベニマルなめがたフェア

6月20日（金）～22日（日）、株式会社ヨークベニマルの県内45店舗（大津店・中郷店を除く）で「なめがたフェア」を開催しました。JAなめがたしおさいの行方かんしょやふるさと納税で人気の商品など、本市自慢の特産品を各店舗で販売しました。6月21日（土）には、つくば竹園店で「かんしょカー」を使用した焼き芋の試食会や、なめりーミコットとの写真撮影会を実施し、多くの方に本市の特産品を知ってもらう機会になりました。

思いやりの心や人権尊重の大切さを学ぶ 北浦小学校・麻生東小学校・麻生小学校

6月24日（火）、7月1日（火）、7月9日（水）の3日間、市内の小中学校で人権教室を行いました。本市の人権擁護委員が講師となり、児童に身近な内容のDVDを鑑賞してもらい、人権についてグループに分かれて話し合いをしました。児童たちは、思いやりの心や人権尊重の大切さについて、理解を深めることができました。本年度は、市内全ての小・中学校で人権教室を行う予定です。



▲意見を出し合いながら話し合いを行いました（写真は麻生東小学校）



▲（写真左から）松村優太選手、荒木遼太郎選手

鹿島アントラーズの選手が小学校を訪問 麻生小学校

6月25日（水）、鹿島アントラーズの選手による小学校訪問が麻生小学校で行われ、5・6年生と選手と一緒にじゃんけん列車や〇×ゲームなどを行い、交流しました。リフティングやボール回しでは、選手の技に歓声が上がっていました。また、質問の時間では、両選手とも児童の質問に一つずつ丁寧に答えていました。参加した児童からは「選手が来てくれて、サッカーにとっても興味を持ったので、今度はスタジアムに応援に行きたい」と話していました。

の ぼり旗の設置と街頭キャンペーンを実施 第75回社会を明るくする運動

6月30日(月)、なめがた地区保護司会・行方市更生保護女性会により、第75回社会を明るくする運動の推進にあたって、のぼり旗が各庁舎と各公民館に、横断幕が麻生庁舎に設置されました。また、7月5日(土)には、道の駅いたこで街頭キャンペーンが行われ、参加者全員でうちわやリーフレットを配布し、普及啓発を行いました。7月は活動の強調月間としており、犯罪や非行の防止とそのような人たちの更生について理解を深め、安全で安心な地域社会を築こうとする全国的な運動となっています。



▲ 啓発活動のため、うちわやリーフレットを配布



▲ なめがた地区保護司会・行方市更生保護女性会の皆さん



▲ 街頭キャンペーンには、多くの方にご参加いただきました

どうぶつとみんなのいえ日記

ケープペンギン

- ▼ 名前・年齢 海人(ミナト) 10歳
海桜(ミオ) 9歳
▼ 特徴 よく一緒にいる仲良しな兄弟



▲ (写真左から)
【海人】→左翼：緑・青、右翼：茶
【海桜】→左翼：緑・青、右翼：黄

比較的暖かい所に住んでいる

ケープペンギンは、顎の下に入った1本の黒いラインと、目の上のピンク色の肌がチャームポイントな種類のペンギンです。ペンギンといえば、寒い氷の上に住んでいるイメージですが、南アフリカのケープタウンに生息する種類で、比較的暖かい所に住んでいます。見た目がみんなそっくりなので「フリッパー」と呼ばれる翼に、カラフルなバンドをつけて見分けています。海人は弟の海桜が大好きで、よく後ろを付いています。他にも全部で18羽いるので、ぜひ海人と海桜の仲良し兄弟を探してみてください。



担当飼育員
野田 朱莉さん

餌やり体験を毎日開催

餌やり体験を毎日開催しています。時間になると、ペンギンたちは一斉にお客さんの目の前までやってきます。魚を一瞬で丸のみする姿は、迫力満点です。皆さんもぜひ体験してみてくださいね。

※季節により、中止する場合があります。

営業情報など施設の詳細は、右のQRコードからホームページをご確認ください。
皆さまのご来場を心よりお待ちしております。

【問い合わせ】霞ヶ浦どうぶつとみんなのいえ ☎ 0299-55-3928

